

—Dr Saowanee Ngamruengphong (The Johns Hopkins Hospital) からのメッセージ

「ASGE のプログラムで国立がん研究センター（NCC）に 2 ヶ月間、研修に来ている。来日して、日本の先生方が大変親切で海外からの研修生に熱心に指導してくれること、NCC の技術や設備が驚くほど素晴らしく、充実していることに感銘を受けた。帰国後、海外で研修したいと考えている同僚がいれば、ぜひ日本を薦めたい」

—Amrita Sethi (NewYork-Presbyterian/Columbia) からのメッセージ

「日本の女性内視鏡医、特に JGES のメンバーには、世界には革新的な考えを持ち、有能で経験豊富な女性医師が数多くいるということを知ってほしい。彼女らに不足しているのは、そうした知識、技術、経験を伝える機会だけだ。そのため、現在は講演会やセミナーなど、様々な場を利用し、研修生からベテランまで、幅広く女性医師が情報を共有し、助け合えるようなネットワークづくりに取り組んでいる。日本の内視鏡医も是非参加してほしい」

—Dr Uzma Siddiqui (The University of Chicago Medicine) からのメッセージ

「田尻理事長主導の下、JGES が進めている国際的な連携は非常に大事だと思う。『内視鏡』は内視鏡医にとって、世界の共通言語だ。より良い内視鏡医療のためには、皆が連携し合うことが大切で、最良の結果は孤立しては出せない。世界中の仲間との協力が欠かせず、私たちがここにいるのもそのためだ。私たちは日本の仲間とアイデアを共有し、日本の内視鏡医から学び、より良い内視鏡医、より良い人間になりたいと思ってやってきた。JGES が今後も国際連携を推進していくことを期待している」